



2021年  
3月3日  
No.A20-11

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

## 中東調査会月間活動誌 (2021年2月)

### 1. 中東調査会主催の行事

#### (1) 中東情勢オンライン講演会

・2月3日(水)、兒玉 和夫 公益財団法人フォーリン・プレスセンター理事長「回顧と展望：英国のEU離脱を含むEUの最新情勢及び日EU関係」(Zoom形式)



#### <要旨>

大使より、英国のEU離脱を含むEU情勢、またイスラーム過激派、イラン、トルコ、中国等との関係についても説明された。質疑では、EU諸国におけるエリート・非エリート層の分裂、欧州統合の今後の可能性、EUトルコ関係等について多数の質問が出た。

・2月15日(月)、岩坂 将充 北海学園大学准教授「COVID-19対応とトルコ情勢」(Zoom形式)

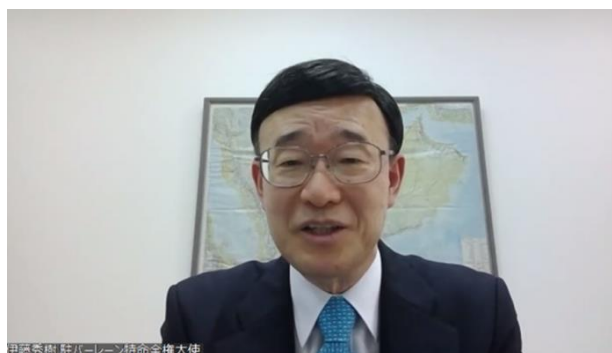
#### <要旨>

講師より、トルコにおけるCOVID-19感染状況の推移と政府の対応、また世論の評価について説明があり、依然としてエルドアン大統領への評価は相対的には高いことが示された。質疑

では、エルドアン政権の強権化、対中国、対米関係、今後の大統領・議会選挙の可能性について多数の質問が出た。



・2月22日(月)、伊藤 秀樹 駐バーレーン大使「バーレーン情勢と日・バーレーン関係」(Zoom形式)



#### <要旨>

大使より、バーレーンの内外政、経済、安全保障等の現状を踏まえた上で、イスラエルとの国交正常化やカタールとの国交回復といった直近の動向について説明された。質疑では、サルマン皇太子の首相就任の背景やイスラエル・カタールとの関係の展望、またバイデン米政権と

の関係等について多数の質問が出た。

(2) 中東情勢分析：駐日中東大使に聞く

・2月4日、「中東情勢分析：駐日中東大使に聞く（第2回、モルテザ・ラフマーニ・モヴァッヘッド駐日イラン・イスラム共和国大使閣下）を発行いたしました。本年度は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大によって、対面での講演会実施が困難な状況が続いています。そこで中東諸国の大使に、書面インタビューの形式で各国の内外政の状況についてお答えいただくこととなりました。是非お手に取ってご覧ください。

※会員の方は無料でご覧いただけます。非会員の方もご購入いただくことが可能です（税込み1100円）。詳細はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/126.html>)

## 2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- ・2021年2月号（2021年3月3日付）
- 1. シリア：米国がアブー・カマールを空爆
- 2. トルコ：イラク北部でのトルコ人13名殺害と米国の反応
- 3. アフガニスタン：ターリバーンと国際テロ組織との関係断絶を巡る状況
- 4. イエメン：米国のアンサールッター「テロ組織」指定撤回の影響
- 5. リビア：統一政府の組閣に向けた動き
- 6. イラン：「第4の波」が懸念される中、COVID-19 ワクチン接種が開始

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/topics/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/))

(2) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】

- ・No.17「モザンビークのイスラーム過激派：地

域的拡大とガス田サイト攻撃への懸念」(2月12日)

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/monitor/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/))

(3) 中東かわら版の発行

No.130「イスラエル：参謀総長によるバイデン政権批判とイラン攻撃計画の発言の波紋」

(上席研究員 金谷美紗、2月1日)

No.131「アフガニスタン：バイデン米政権による対アフガニスタン政策の見直し」(研究員 青木健太、2月3日)

No.132「サウジアラビア・UAE：バイデン米政権のイエメン政策についての反応」(研究員 高尾賢一郎、2月5日)

No.133「レバノン：ルクマーン・サリーム氏の暗殺と長引く政治経済危機」(上席研究員 金谷美紗、2月5日)

No.134「リビア：新統一政府の選定」(研究員 高橋雅英、2月8日)

No.135「イエメン：バイデン米政権がアンサールッター「テロ組織」指定を撤回」(研究員 高尾賢一郎、2月9日)

No.136「イラン：ハーメネイー最高指導者による核合意遵守の条件提示とその示唆」(研究員 青木健太、2月10日)

No.137「イラン：IAEA 追加議定書の暫定適用を停止」(研究員 青木健太、2月24日)

No.138「アルジェリア：内閣改造（ジェラード第3次内閣）と議会の解散」(研究員 高橋雅英、2月25日)

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(4) その他の活動

- ・2月18日（木）、外部講演会、研究員 青木健太「アフガニスタン和平の今後の行方～和平交渉の進捗状況とその含意」(Zoom形式)

\*JICA 南アジア地域セミナーへオンライン出講した。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

### **3. その他**

(1) 要人往来

- 19日、菅首相はG7首脳テレビ会議に出席した。

(2) 外務省人事

- 2月20日(土) 発令  
ジッダ総領事 新村出

### **4. 今後の予定 (3月)**

- 3月5日(金)、14:00~15:30、第21回中東情勢分析発表会(研究員 高橋雅英・研究員 金子真夕・上席研究員 金谷美紗「東地中海の資源・覇権をめぐる動向——リビア、トルコ、エジプト、イスラエル」)(Zoom形式)
- 3月12日(金)、8:30~10:00、於：オークラ東京プレステージタワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング(マンリオ・カデロ サンマリノ共和国特命全権大使「最古参の駐日大使が見た日本~日本人が知らない日本~」)

#### **\*法人会員限定**

- 3月25日(木) 14:00~15:30、中東情勢オンライン講演会(鈴木 光太郎 駐イラク大使「最新のイラク情勢」)(Zoom形式)
- 3月30日(火)、8:30~10:00、於：オークラ東京プレステージタワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング(藤原 帰一 東京大学法学政治学研究科教授・東京大学未来ビジョン研究センター長「アメリカ中東政策の転換」)

#### **\*法人会員限定**

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

\*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

\*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。

### **5. 出版物刊行のご案内**

• 3月1日、『別冊・中東研究：中東各国動向(2020)』(定価：本体2000円+税)が発行されました。1年間の中東各国動向をまとめた「日誌データ」、重要なニュースをピックアップして解説した「かわら版」、会員限定レポート「イスラーム過激派モニター」、及び、特別書き下ろし「中東各国における新型コロナウイルス感染状況」を所収しております。是非お手に取ってご覧ください。

※通常の『中東研究』とは異なり、会員向け配布はございません。

(<https://www.meij.or.jp/publication/chutoukenkyu>)